

2016年度 中国現代文学研究者懇話会 作家 閻連科氏を迎えて

《セッション1》 司会：岩佐昌暲 [九州大学名誉教授]

挨拶：北岡正子 [関西大学名誉教授] …………… 14:00-14:05

濱田麻矢 [神戸大学] …………… 海外研修報告「妻を殴る男」 …………… 14:05-14:45

質疑応答 …………… 14:45-15:00

講演 …………… 15:00-15:40

王堯 [蘇州大学] …………… 「閻連科是誰？」(閻連科とは誰か?)

《セッション2》 司会：谷川毅 [名古屋経済大学]

講演 …………… 15:50-16:30

閻連科 [作家、中国人民大学] …………… 「卑微而不安的写作」(卑しさと不安の創作)

ディスカッション 閻連科×谷川毅 …………… 16:30-16:50

質疑応答 …………… 16:50-17:30

進行：安部悟 / 黄英哲 [愛知大学] 通訳：小笠原淳 [熊本学園大学] / 魏晨 [名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程]



[2016年9月15日駒沢大学にて、伊藤徳也撮影]

閻連科 (えん れんか) 作家、中国人民大学教授

1958年河南省洛陽市生まれ。河南大学在学時代から小説の発表を開始し、1998年魯迅文学賞をはじめ、数々の文学賞を受賞。“荒誕現実主義大師”と評され、超現実主義的作風で中国社会、人々を描く。数々の発禁処分を受けながらも執筆を続け、2014年にはアジアで二人目となるフランツ・カフカ賞を受賞。中国の作家として、莫言に続くノーベル文学賞候補と目されている。

〈主な邦訳作品〉

『人民に奉仕する』谷川毅訳、文芸春秋、2006年

『丁庄の夢—中国エイズ村奇談』谷川毅訳、河出書房新社、2007年

『愉楽』谷川毅訳、河出書房新社、2014年 (2015年Twitter文学賞受賞)

『父を想う—ある中国作家の自省と回想』飯塚容訳、河出書房新社、2016年



王堯 (おう ぎょう) 蘇州大学文学院教授、同学術委員会主任

1960年江蘇省東台市生まれ。文革文学をはじめとする中国現代文学を研究。評論家・作家としても活動。中国国家教育部「長江学者奨励計劃」特聘教授、江蘇省作家協会副主席をつとめる。主な著書に『莫言王堯対話録』『文革“対”五四及“現代文芸”の叙述与闡釈』『作為問題的八十年代』など。邦訳論文に「中国当代文学史の“過渡的状态”」。

2016年11月5日(土) 14:00~17:30 (13:30開場)

愛知大学車道キャンパス 本館10階 K1001教室

(JR「名古屋」駅より地下鉄桜通線にて「車道」駅下車①出口より徒歩2分、「名古屋」駅より約10分)

《参加費無料・要申込》 ◎定員150名 ◎使用言語：日本語・中国語(日本語通訳有)



お申し込み 愛知大学国際問題研究所 <http://www.aichi-u.ac.jp/aiia/entry.html>

◎お名前・ご所属ほか必要事項を明記してお申し込み下さい(10月23日〆切)

お問い合わせ 黄英哲(愛知大学) E-mail: yingche@vega.aichi-u.ac.jp 協力：あるむ